

## 工学部社会デザイン工学科

学位（教育）プログラム名：社会デザイン工学

社会デザイン工学の学位プログラムは、長年に渡り土木業界で活躍する人材を送り出してきた自覚と責任の下に、今後もこの分野で確固たる地位を築ける人材を養成することを目的としたカリキュラムを提供しています。

すなわち、専門教育の基礎となる工学共通科目にはじまり、土木に関する専門知識を学ぶ講義科目、発展的な知識を習得する応用科目を開講しています。まず1年次では、数学系科目、物理系科目などの基礎科目が設けられており、専門教育科目を学んでいくために必要となる知識を修得していきます。そして2・3年次では、専門教育科目を中心とした学修へと展開し、構造系、水理系、地盤系、計画系、材料・施工系、環境系の6分野を体系的に学んでいきます。また3年次では、より高度な専門知識を学べる専門の選択科目が用意されており、積極的に学ぶ意欲のある学生に応えることができるようなカリキュラムになっています。最後に4年次では、これまでに学んだ専門知識を活かし、学修の総括として卒業論文に取り組みます。

そしてこのカリキュラムでは、幅広い教養を身に付けるための共通教育科目、通常の講義科目に加えての実験・実習科目、複数の教員による分野横断的な共担科目も組み込まれており、専門知識を応用していくとともに、専門が多岐にわたる土木分野において必須となる多面的な視野を養うなど、専門的な知識の習得のみならず実践的な土木技術者を養成するための教育を行います。「グローバル能力の修得」、「責任感・倫理観の育成」、「工学の基礎的知識の修得」、「専門知識の修得」、「デザイン能力の修得」、「コミュニケーション能力の修得」、「自主・維持学習能力の修得」、「目的完遂能力の修得」、「柔軟対応能力の修得」を目標に掲げ、本プログラムでの学習を通じてディプロマ・ポリシーの達成が可能となるカリキュラムになっています。